

部下と協力して、全員参加で 改善を推進するためには、何が大事だろうか？

“作業者”はどういうひと??

作業者は、ロボットか？ 違う 感情、頭脳がある。

ならば、作業者に達成感、充実感を感じてもらうことが大事。

?

そうだ！我々が望むことと同じだ！
参画、一体感、上達、フィードバック

コミュニケーションが必要

トライする。まずやってみる。

方針・目的を伝える。

目標を設定する。

作業者に実感してもらう。
わかってもらう。

手法に対しては、伝えるとともに、
思ってることをいってもらう。

グループミーティング

“作業者”という呼び方は、
ふさわしくないのでは??

聞くときに、最初から否定しない。

朝礼(1分間スピーチ)

疑問に思ったときは声をかける

どんな時に、 充実感・達成感・やりがいを感じるのだろうか？

参画

自分の考えを持ち
計画や改善案に
反映できた時

計画段階から参画する

当面週1回：
班長同士で改善相談
会・集中改善実施

一体感

皆と協力をして
推進できた時

部下が動いてくれた
他の部門も協力してくれた
上司が相談にのってくれた

部下とのコミュニケーションを
大事にする

班長クラスで横の協力
関係をもつ。班長会(仮
称)で、定期的に他部
門の改善活動支援

上達・進歩

成果が出た時
目標が達成できた時

目標明示
目標達成経過の
見える化・共有化

月次、週次、日次、
時間、瞬間瞬間での
PDCA

フィードバック

ほめられた時

結果のみではなく
トライしたことに対しても

活動内容の常時見える化

報告や監査時発表の都度
活動資料を作成するのではなく。

真剣だと知恵が出る

中途半端だとぐちが出る

いいかげんだと 言い訳ばかり